

『マタニティークリスマスケーキ教室』を開催しました

12月21日、当院でご出産予定の患者様に令和館10階・テラスレストラン(シンブソンス)にて『マタニティークリスマスケーキ教室』を開催いたしました。

今回のケーキ教室では、シフォンケーキでクリスマスケーキを作りました。初めに、当院のシェフが講師となりシフォンケーキの作り方・クリスマスケーキのデコレーションのコツをお伝えしながら実演をおこないました。

その後、患者様ご自身にクリスマスケーキのデコレーションにチャレンジしていただきました。

シフォンケーキに生クリームを塗り、たくさんのフルーツで飾り付けし、イチゴ衣装のサンタを添えて素敵なクリスマスケーキが完成しました。

また、講習後は「シンブソンス」オリジナルピンサをお召し上がりいただきました。

妊婦さん同士の交流の場ともなり、とても楽しい時間を過ごされました。



マタニティバレンタインチョコレート教室

福田病院を受診中の妊婦さんを対象にチョコレート教室を開催いたします。大切な方に手作りのオリジナルチョコレートをプレゼントしてみませんか？

開催日時: 2024年2月10日(土)

開催場所: 福田病院令和館 10階テラスレストランシンブソンス

申込: 1月25日(木)より ホームページで受け付けております。



写真は前回開催した時のものです

0回目のひなまつり

福田病院をご入院中の妊婦さんを対象とした「0回目のひなまつり」のイベントを今年は3月1日(金)に寿心亭で開催いたします。もうすぐ生まれてくる赤ちゃんの健やかな成長を願ってオリジナルのアルバムを一緒に作成してみませんか。詳しくはホームページにてお知らせ予定です。皆さまのご参加をお待ちしております。



写真は昨年のアルバム作成の様子です

個人情報の利用について

当院がコアラジャーナル配達のためにお預りしている氏名、住所等の個人情報は、コアラジャーナルの配達その他、当院で開催する行事のご案内や重要なお知らせ等を送付する目的で利用させていただきます。それ以外の目的で利用させていただく必要が生じた場合には、あらかじめご本人の同意をいただきますので、ご了承ください。

住所が変更になられた方は、福田病院までご連絡下さい。

コアラジャーナル編集部



コアラ ジャーナル KOALA JOURNAL

発行所 熊本市中央区新町2丁目2-6
〒860-0004 電話 (096) 322-2995
http://www.fukuda-hp.or.jp
info@fukuda-hp.or.jp
愛育会 福田病院
購読料 一部 30円 年間300円
第463号 毎月1回 1日発行

より良いコミュニケーションをめざして

助産師 主任 岡田 深雪

余寒厳しき折ではございますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

私は、福田病院へ入社して今年で16年目となり、4月よりLDRの主任となりました。ここまで続けてこられたことに自分でも驚いています。今までも産に関わらせていただいた患者様に感謝するとともに、先輩助産師や先生方、助け合った同期の支えがあつてのことと思っています。現在、主任としての業務も増え、今一番悩んでいることは、コミュニケーションについてです。患者様やそのご家族と信頼関係を築いていくためにも、治療方針の相互理解を図るためにもコミュニケーションはとても重要です。また、後輩への指導や教育を行う機会も増え、上手く伝えることの難しさを実感しています。そして、看護管理者の立場として他職種との調整役を担うことも増え、益々もっと上手くコミュニケーションをとれるようになりたいという思いが強くなりました。

そのようななかで、看護部での勉強会で「アサーティブコミュニケーション」というコミュニケーション方法を学ぶ機会がありました。「アサーティブ」とは、相手を尊重しつつ自分の権利も尊重し、誠実に、率直に、対等に自己表現することであり、相手も自分も満足するコミュニケーションのことをいいます。初めてこの言葉を知ったとき、「それができなくて困っているんだ」「言葉だけの綺麗ごとだ」と思いました。それと同時に、「これはまさに自分が習得したいコミュニケーションだ」とも感じました。

「アサーティブコミュニケーション」について私が学んだことを少しお話させてください。コミュニケーションの基本は「DESC法」で、これは状況を客観的に描写する、表現する、自分の気持ちを説明する、共感する、提案する、選択するといった過程を通して、自分の伝えたいことを伝えるという方法です。伝えるときのポイントは「目的を絞る」「気持ちを言葉にする」「相手と自分の両方を尊重する」ことです。

自分のことにこの「アサーティブコミュニケーション」を置き換えて考え

ると、職場での報告や情報共有の際に状況をただ述べているだけで、自分の気持ちを言葉にして伝えるということがうまくできていないということが分かりました。また、一方的に依頼する、指示するということも多く、相手の気持ちをきいたり、共感したりすることが足りていなかったようにも感じます。相手と自分の両方を尊重することができていないことに気づきました。

「アサーティブコミュニケーション」は医療現場だけでなく日常生活の中にも使えるコミュニケーションです。コロナ禍を経てリモートワークが増え、対面でのコミュニケーションが減少している中、自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも尊重するコミュニケーション方法がより大事になっているのではないのでしょうか。

「どう伝えて」「どう受け取ってもらうか」という視点を大事に、より良いコミュニケーションを目指していきたいと思っています。



福田病院ではコロナウイルス感染拡大を防ぐため入館制限を行っております。詳しくは福田病院のホームページをご覧ください。



ホームページ



LINE



Instagram



facebook



母親学級(各教室等)、マタニティスポーツやよちよちサークルの開催については下記へお問合せください。

●母親学級(各教室等)のお問合せ●

< ゆうかり倶楽部 >

【受付時間】9:00~17:00(日祝除く)

【ゆうかり倶楽部直通番号】TEL: 096-322-5116

